

# フードバンク山梨 第16回 定期総会

だれもが食を分かち合える社会のために



2023.10.15 フードバンク山梨設立15周年記念セレモニー

日時：2024年5月22日（水）13：30～  
会場：山梨フードバンクセンター



## 認定NPO法人フードバンク山梨 第16回定期総会 次 第

1.開会の言葉

2.理事長挨拶

3.議長選任

4.書記及び議事録署名人の選出

5.議案審議

第1号議案

2023年度事業活動報告・活動決算報告・監査報告  
承認の件

6.報告事項

(1) 2024年度事業活動計画及び活動予算 報告の件

(2) 第8期理事会役員 増員の件

7.議長解任

8.閉会

**設立より15年を迎えました。  
地域に新たな縁を築くために、  
これからも皆様と共に**



認定NPO法人フードバンク山梨 理事長 米山けい子

「フードバンク山梨」は、地域の皆様の温かいご支援と協力のおかげで、昨年無事15周年を迎えることができました。しかしながら、今年は2024年の元旦に発生した能登半島地震により、波乱の幕開けとなりました。また、物価の上昇は当法人が支援するシングルマザーなど低所得層に大きな影響を与えています。社会は、富の格差が拡大し、豊かな人はより豊かに、貧しい人はより貧しくなっています。

子育て中の家庭からは、「物価高騰でおかず1品だけの日もありますが、フードバンクさんの支援が本当にありがたく、皆様に感謝しながら過ごした1年でした」という声が寄せられています。また、「たくさんの食べ物が入った箱は、まるで宝石箱のように我が家を嬉しい気持ちにしてくれました。子育てが終わったら、私も支援する側になりたいです」との感謝の言葉もあります。さらに、8歳の女の子からは「いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。クリスマスにこういうプレゼントがあると嬉しいです。ありがとうございます♥」とのメッセージが寄せられました。

子どもたちからの声は、私たちの活動の原動力となっています。「子どもたちが育った環境にかかわりなく、笑顔でいてほしい」という願いを胸に、フードバンク活動を通じて、助け合いの社会を築き、温かな循環社会を目指しています。

長らく無縁社会とされてきた時代に、新たな縁を築き、地域社会の課題に真摯に取り組むことが求められています。皆様のご意見やアイデアは、私たちの活動をより効果的かつ持続可能なものにするために不可欠です。今後も、地域の皆様と共に歩み、より多くの方々に希望と笑顔を届けるために努めてまいります。

最後に、これまでのご支援に心から感謝申し上げます。フードバンク山梨は、皆様の温かいご支援なしには成り立ちません。今後も、地域の皆様と共に力を合わせてまいります。

## 第1号議案 2023年度 事業活動報告・活動決算報告・ 監査報告 承認の件

持続可能な開発目標（SDGs）に則った活動を推進しました。



\* SDGs とは、あらゆる形態の貧困に終止符を打ち、誰も置き去りにしない取り組み。2030年までに持続可能な世界を実現するための17の国際目標。

### フードバンクに関する目標





# 1. 食料支援等を通して貧困をなくす活動

## (1) 県内FBの設立とノウハウ支援

設立数のべ12団体1企業

中核的フードバンク (FB) としての活動推進。年間を通じて、  
のべ1,194世帯が県内各地の配布会場で支援品を受け取りました

■県内に広がる県内フードバンク (FB) 団体  
行政との連携地域と合わせて、ほぼ県内全域  
(27市町村中21市町村) での支援体制を構築。

■オンラインに統一した申し込みを実施  
(当事者→フードバンク山梨→県内FB)  
2次元コードから 구글フォーム に入力。  
ライングループ登録も推奨。

■各団体が独自の活動を展開  
食品の収集や行政との連携など、各団体の強  
みを生かした取り組みをスタート。

### 2023年度のトピック

■フードバンク・スタートアップセミナー2023  
5/17 県内FBの活動をわかりやすく紹介するセ  
ミナー。新たに3団体1企業が活動をスタート。

■意見交換会 & 助成金申請講習会の開催  
1/24 これまでの活動の振り返りと助成金申請  
のポイントを伝授。

■乳幼児応援プロジェクト (NOP) での食品配  
布を2回実施。  
県内FB会場での配布機会を増やした。

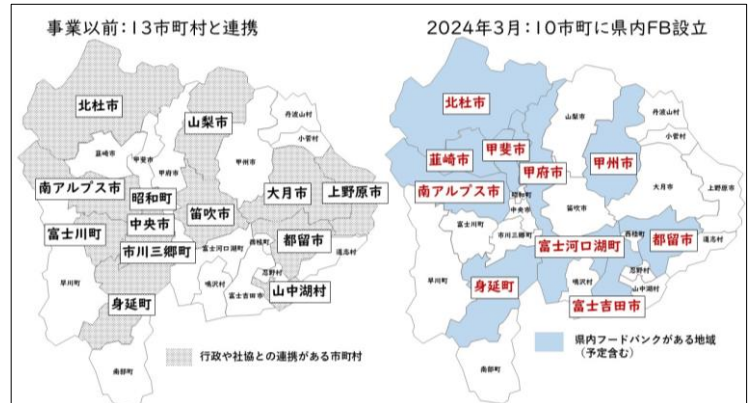
### 山梨県内FB団体・協力企業一覧

- ① 協力団体ふじざくら (富士河口湖町)
- ② 社会福祉法人山梨立正光生園 (甲府市)
- ③ 韮崎だんぼらの会 (韮崎市)
- ④ NPO法人高齢社会を克服する会 (甲府市)
- ⑤ ファミリーホーム「かいふじホーム」 (南アルプス市)
- ⑥ NPO法人こどもサポートやまなし (甲府市)
- ⑦ NPO法人ぐんないや-織syoku- (都留市)
- ⑧ よりそい北杜 (北杜市)
- ⑨ 社会福祉法人忠恕会 (甲府市)
- ⑩ 社会福祉法人ぎんが福祉会 (甲斐市)
- ⑪ 認定NPO法人フードバンク山梨 (南アルプス市)
- ⑫ 特例認定NPO法人富士の緑とフードサポート (富士吉田市)
- ⑬ 株式会社シャトレゼ (身延町)
- ⑭ NPO法人地域つながりお茶会ちびチュウ (中央市)

各団体は、地域の困窮者の掘り起こしと支援を独自に実施  
・①～⑪：「山梨県内におけるフードバンク活動に関する  
合意書」を結んだ団体

・①～⑬：「つながるスマイルプロジェクト」で会場配布  
を行う団体・企業

\*FB: フードバンクの略



ネットワーク活動報告会 (オンライン)



テレビ・新聞で報道されたセミナー



配布会場にて留学生と懇談

## (2)「つながるスマイルプロジェクト」の推進

支援数のべ **932**世帯

コロナ禍・物価高騰などの影響を受けた人へ年6回実施しました

■県内フードバンク（FB）団体との連携で実施  
県内FBの意向を調整し、配布会場・日時を決定

■定期的なフードパントリー（食品配布会）開催  
2023年6月より翌年3月にかけて、6回実施

■支援基準を、より経済的に困窮している世帯に限定

生活保護を除く住民税非課税・児童扶養手当全額受給・給付型奨学金受給のいずれか

### 2023年度のトピック

■企業店舗が初めて配布会場に！

6/15 株式会社シャトレゼ身延店にて開催

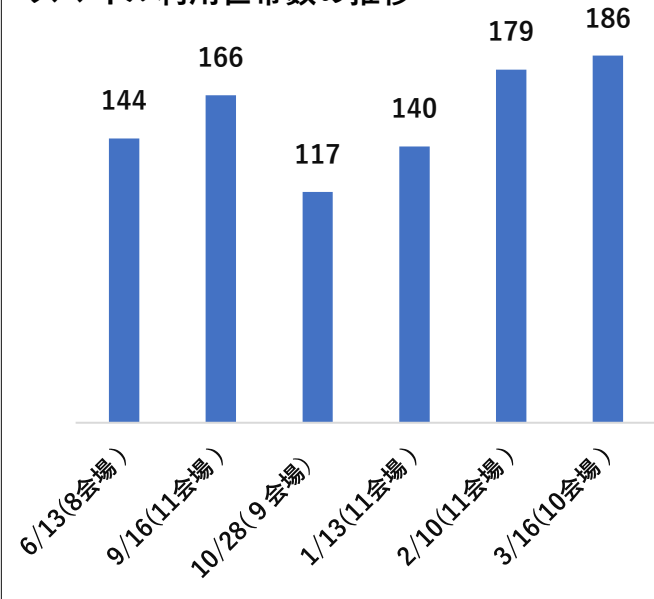
■スタンプカードで申込み手続きを簡略化

6/3 センター会場ではスタンプカードを試験的に導入し、定期的開催による申請の煩雑さを軽減。カード提示によりスピーディーに受け取ることができるようになりました

■各県内FB会場での食品配布を年間6回実施

支援機会増加のため9月より月1回の頻度で開催

### スマイル利用世帯数の推移



2023年度は年6回実施しました。利用基準の見直しと、秋以降の会場確保及び周知を進めた結果、利用世帯が増加傾向に転じました



会場配布の様子

| 新スマイルプロジェクト<br>食品受取りスタンプカード                                                      |          | ご署名                                                                                                           |
|----------------------------------------------------------------------------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 有効期限: 2024年 3月31日                                                                |          | ① カード持参により、年間6回まで食品が受け取れます<br>② 食品受取り1回につき、スタンプ1個を押印します<br>③ カード紛失および、有効期限切れの場合は無効となります<br>④ 次回の間隔は、メールで連絡します |
| 発行日: 2023年 月 日                                                                   |          |                                                                                                               |
| 1<br>月 日                                                                         | 2<br>月 日 | 3<br>月 日                                                                                                      |
| 4<br>月 日                                                                         | 5<br>月 日 | 6<br>月 日                                                                                                      |
| 認定NPO法人フードバンク山梨<br>〒400-0203 山梨県山梨市橋本1603-1<br>TEL:055-278-4844 FAX:055-278-4844 |          |                                                                                                               |

「食品受取りスタンプカード」見本



身延店舗内の設置会場



企業初参加時のプレスリリース



### (3) 休眠預金事業目標達成

2023年度  
提供量 のべ **295** トン

休眠預金を活用した公益財団法人パブリックリソース財団の「中核的フードバンクによる地域包括支援体制」事業を活用して、2021年度から2023年度までの3年間で、延べ626トンの食品を困窮世帯に提供しました

#### ■山梨フードバンクセンター稼働による効果 (2022.12～)

保管能力70トン、15トン車搬入可、精米機完備など

#### ■企業から冷凍冷蔵品の寄贈受入れをスタート 冷凍庫・冷蔵庫・保冷車・保冷ボックスの整備

#### ■ITシステムを構築

寄贈時のペーパーレス化を進め、タッチパネルでの入力に切り替え



電動フォークリフト2台完備

#### 2023年度のトピック

#### ■当法人が中核的フードバンクの役割を担う

県内各地のフードバンクの立上げや活動の充実を支援

#### ■全国フードバンク推進協議会による伴走支援を受けた

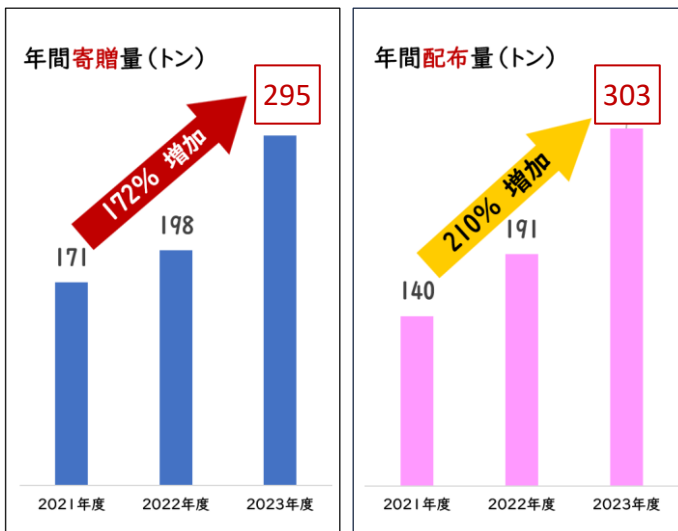
#### ■215トンに達した大口食品寄贈

2,919㎡の敷地面積に、70トンの食品が保管可能なセンター（570㎡）をフルに活用



冷凍車を使って冷凍食材の引取り

#### 食品取扱量の推移



2022年12月に山梨フードバンクセンターが稼働しました。その後、寄贈量・配布量とも大幅増加しています。



用紙への記入からITシステム入力へ



10トントラックで寄贈された食品

## (4)食のセーフティネット事業

支援世帯数 **422** 世帯

10市町の行政や社会福祉協議会と連携し、定期的に食料支援。  
年間を通じて、延べ5,327件、約52トンの支援を行いました

### ■10の市町・社会福祉協議会と連携した支援を実施

(南アルプス市、中央市、笛吹市、山梨市、都留市、上野原市、昭和町、市川三郷町、身延町、富士川町)

### ■支援頻度・期間

1ヶ月に2回食品の発送 最大3ヵ月間

※窓口担当者の判断により支援期間の延長あり

### ■対象とする世帯

連携する行政・社会福祉協議会の窓口担当の

判断により、依頼された生活困窮世帯。

ひとり親世帯、多子世帯、高齢者世帯、外国籍世帯など



箱詰め作業の様子



支援した食品の例

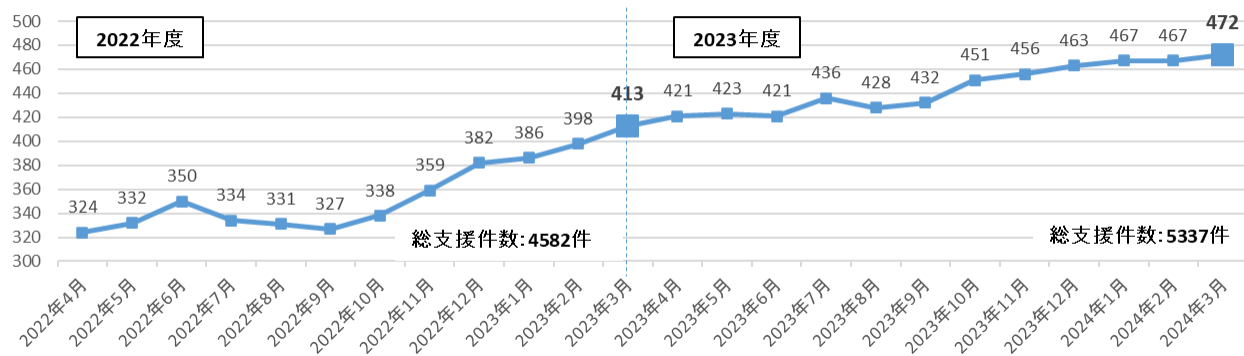
### 2023年度のトピック

■月別支援件数では2024年3月は472件。前年度3月の413件より59件（14%）増加。

総支援件数では2023年度は延べ5337件。前年度の延べ4582件より16%増。

物価高騰の影響を受け生活が圧迫されている世帯が多い。

2022年度～2023年度 月別支援件数



2024年3月の支援件数472件のうち、高齢者（65歳以上）世帯は140世帯。

また、母子世帯は125世帯、父子世帯は9世帯であった。

申請が多い世帯と傾向については以下の通り。

#### ●ひとり親世帯

元夫からの養育費を受けていない家庭が大半、世帯収入が少なく生活が苦しい状況が多い。また、親や子どもに精神や身体障害がある世帯が多く、安定した就労・収入が得られないため長期に渡る支援が必要なケースが多い。

#### ●高齢者世帯（65歳以上）

年金（2ヶ月に1回、月に平均約60,000円）だけでは生活が苦しく、年齢的に就労も難しく収入を増やすことが難しいため状況の改善が難しい。生活保護の受給により支援を終了するか、支援を長期化するケースが多い。



■利用者とのコミュニケーション・つながり形成  
「ふーちゃん通信」では季節や時事など身近な話題を投げかけ。返信用ハガキやQRコードにて回答を集め、次号で結果を掲載するなどの企画も実施。

## ■利用者からの相談やお悩みなどは、QRコードでも受付

情報を迅速に共有できるよう、利用者からの相談や悩みに対しては、「ふーちゃん通信」内のQRコードからも受け付ける。高齢の利用者も多いため電話での対応可能な体制をとっている。

## ■気遣う気持ちと季節感をお届け

山梨英和中学・高等学校様からの季節に合わせた折り紙作品をいただき、食品と一緒に同封。「折り紙作品を部屋に飾っている」「かわいい作品が届いて嬉しかった」などの声をいただいた。

## 2023年度緊急支援

連携している10市町や県内外の方々からの「明日の食べるものがない」「所持金が1000円程度しかない」という緊急の声に対応した当法人独自の支援を実施。

また、食品引き渡しの際に各行政の窓口担当者から地域の支援状況について聞き取りを行った。工業団地が多く外国籍労働者が多い、高齢者が多く住んでいるなどの地域特性がある中で各担当者が支援を行っている。

## ■支援機関への聞き取り

高齢者の方の窓口相談が多く、食べ物がない・ライフライン（水道・電気・ガス）が止まってしまった段階からの相談も多い。  
そのため、窓口では缶詰やカップ麺、防災食など、そのまま食べられるものを活用することが多い。  
地域包括支援センターや健康推進課などさまざまな機関から申請依頼が入ってきている。

ひとり親世帯や外国籍世帯の窓口相談が多い。外国籍の方はさらに兄弟や知人に共有することが多く、横の繋がりからの新規相談も増えている。  
通訳士が窓口で常駐し、訪問にも同行している。  
また、就労の不安定から生活が困窮するケースが多い。派遣での契約満期、打ち切り、本人による自己退職など。



食品箱に同封している「ふーちゃん通信」



山梨英和中学・高等学校  
ひまわり部様から  
歳時ごとに寄せられる  
折り紙作品

市内の小中学校と連携しており、学校からの定期的な報告書により、生活環境が気になる児童に対して訪問支援を行っている。  
また、朝食を食べていない・食べられない状況の児童に対しては、集中力や身体能力などの低下を懸念し、登校後に別室にて食品を提供している。  
食品は担当者とフードバンク山梨で連携・共有しながら準備をしている。

高齢者の方の窓口相談が増えている。一人暮らしで調理が難しい状況の方が多く、缶詰やレトルト、そのまま食べられるものが活用されている。  
支援世帯に対して、健康増進課、子育て支援課、介護保険課など他機関と連携して支援を実施。  
訪問相談の際に食品を持っていくと相談者の気持ちがほぐれ、相談に入りやすく重宝している。

## (5) 高校生・若者支援

支援世帯数

141 世帯

**本年度より開始。高校生のいる世帯とケアリーバーへの  
定期的な食料支援をのべ1, 171世帯、約17トン行いました**

### 【高校生支援】

#### ■食料支援とIT人材育成講座の実施

高校生のいる世帯と児童養護施設の退所者（ケアリーバー）に対して、食料支援とITの知識や技術を提供する無料の講座を実施。未来を切り拓く力をつけ社会で活躍するための支援となる。

#### ■対象世帯への定期支援

月に1回食品の発送を行った。  
児童扶養手当・高校生等奨学給付金・住民税非課税の世帯を支援した。

### 【若者支援】

全国フードバンク推進協議会が内閣府と進める「令和5年度 孤独・孤立対策活動基盤整備モデル調査」に協力し、ケアリーバー（児童養護施設や里親などの社会的養護のケアを離れた若者）の支援団体と連携し、食料支援を行った。

### 「食」で高校生を応援します！

認定NPO法人フードバンク山梨では、要請のあった県内高校と連携して「食」の支援を必要とする高校生に今年度、毎月1回無料で食品をお届けする取り組みを開始します。  
食料の配送を希望される方は、裏面に必要事項を記入し、フードバンク山梨まで郵送してください。

■対象となる世帯  
・児童扶養手当を受給している世帯  
・高校生等奨学給付金を受給している世帯  
・住民税所得割非課税世帯

当年度の届け予定  
7月：下旬  
8月：中旬  
※お申し込みは必ずこの時期までにお願いします。



お申し込みは随時受け付けます  
※各回の発送準備に間に合うタイミングで締め切らせていただきます。

■申請に必要なもの：  
・裏面の申請書  
・児童扶養手当受給証または決定通知のコピー  
・高校生等奨学給付金交付通知証または  
住民税非課税証明書のコピー  
※封筒と切手はご自身で準備をお願いします。

毎月1回  
約12kg  
お米・レトルト・缶詰・お肉・カップ麺・和菓子など

■ご協力のお願い：  
・配達などでは所が離れた場合には遠くまでフードバンク山梨にご連絡ください。  
・お申し込みから到着までアンケート調査や電話等で連絡させていただきます。

申請書郵送先・お問い合わせ  
〒400-0203 山梨県南アルプス市徳永1603-1  
認定NPO法人フードバンク山梨 TEL:055-298-4844

食料支援申込書

## 2023年度のトピック

### ■23年度支援世帯数は141世帯

フードバンク山梨の利用者、学校・団体から申請を受け付け支援を実施。

#### ①支援世帯の84%は母子世帯

| 母子世帯  | 父子世帯 | その他  |
|-------|------|------|
| 118世帯 | 4世帯  | 19世帯 |

※両親がいる、子供本人のみ、などの世帯

#### ②1世帯あたりの子ども人数は1～2人が78%。

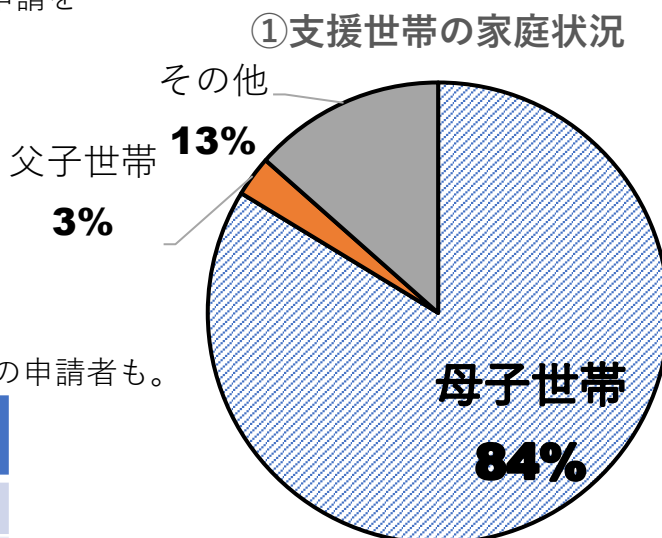
子ども本人のみ、母子・多子世帯という状況の申請者も。

| 世帯状況/<br>子供人数 | 1～2人 | 3～5人 | 6人以上 |
|---------------|------|------|------|
| 母子世帯          | 95世帯 | 21世帯 | 1世帯  |
| 父子世帯          | 4世帯  | 0世帯  | 0世帯  |
| その他           | 12世帯 | 5世帯  | 2世帯  |

#### ③申請の証明書は「児童扶養手当」が80%。

| 児童扶養手当 | 高校生等<br>奨学給付金 | 住民税非課税<br>証明書 |
|--------|---------------|---------------|
| 112世帯  | 11世帯          | 39世帯          |

※複数の証明書を提出している場合はそれぞれ計上。



## ■23年度申請があった学校数は41校

本人による申請のほか、スクールソーシャルワーカーや担任の先生からの相談が食料支援につながったケースがあった。（数字は世帯数）

|         |    |         |   |          |   |          |   |
|---------|----|---------|---|----------|---|----------|---|
| 中央高校    | 18 | つくば開成高校 | 4 | 駿台甲府高校   | 2 | 富士宮北高校   | 1 |
| 甲府工業高校  | 7  | 韮崎工業高校  | 4 | 星槎国際甲府   | 2 | 山梨学院     | 1 |
| 青洲高校    | 7  | 韮崎高校    | 4 | 帝京第三     | 2 | 山梨高校     | 1 |
| 都留興譲館   | 7  | 日川高校    | 4 | 日本航空高校   | 2 | やまびこ支援学校 | 1 |
| 富士北稜高校  | 7  | ひばりが丘高校 | 4 | 北杜高校     | 2 | わかば支援学校  | 1 |
| 都留高校    | 6  | 甲府東高校   | 3 | 甲陵高校     | 2 | 高校卒業     | 1 |
| 農林高校    | 6  | 吉田高校    | 3 | 角川ドワンゴ学園 | 1 |          |   |
| 塩山高校    | 5  | 上野原高校   | 2 | 甲府城西高校   | 1 |          |   |
| 甲府昭和高校  | 5  | かえで支援学校 | 2 | 甲府第一高校   | 1 |          |   |
| 笛吹高校    | 5  | 甲府商業高校  | 2 | 自然学園     | 1 |          |   |
| 富士河口湖高校 | 5  | 甲府西高校   | 2 | 白根高校     | 1 |          |   |
| 甲斐清和高校  | 4  | 巨摩高校    | 2 | 富士学苑高校   | 1 |          |   |

他にも、不登校になっている子どもがいる、世帯主が親の介護のため就労できない、大学に進学を希望していたが家に収入を入れてもらうため進路を変えて働くことになった、アルバイトを子供にしてほしいが学校が認めてくれないなど、世帯の安定した収入のために子供が協力をしている世帯も、少数ではあるが存在していた。

### ■申請世帯の状況

子供が高校生になり、給食がなくなった分お弁当などの昼食の用意や食べ盛りに入り食費がかかる中で物価高騰の影響を受けている。

また、タブレットなどの端末購入や制服代などの出費が大半の家庭で生活を圧迫。

### ■支援担当所感

申請世帯には母子世帯が多く、さらに親や子どもが精神や身体の障害を抱えており、体の影響で就労できない、子どもの送迎や通院が必要でしっかりと働けない等の理由のため、安定した収入を得ることができない状況である世帯が目立った。

## ■利用者とのコミュニケーションやつながりをテーマに「おたより」を作成

季節や時事など身近な話題を投げかけるとともに利用者からのメッセージ等を次号で掲載するなどの企画も実施。

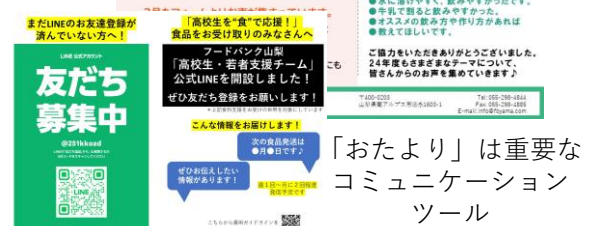
## ■利用者からの相談やお悩みなどは、QRコードでも受付

申請世帯のほとんどがスマートフォンを利用しており情報を迅速に共有できるよう、利用者からの相談やお悩みに対しては、電話や「おたより」内のQRコードから受け付ける。

## ■公式LINEの導入

次回の配送日について、毎月のおたよりに掲載しているが、問い合わせが多いためLINEを導入し、次回配送日の連絡を行っている。

なお、現在の登録数は51世帯。





## ■高校生へのIT人材育成講座の実施

- ・生活が困難な家庭に育つ子にも、プログラミング技術を身に着ける機会を提供することにより、ITの即戦力としての就職など、将来の選択肢を増やすことを目的に学習講座を企画。高校生のいる食料支援利用世帯に受講を呼びかけた
- ・ヴィジョナリーパワー(株)、(株)スクーミーの協力で9-3月のオリジナルプランを作成
- ・4名の申し込みとなり、次期本開講に向けてのトライアル開催とし、9-11月に実施した
- ・高校生は部活や就活で多忙のため、参加しやすい形式や意欲が持続できるしかけが必要であることがわかった
- ・2024年度は準備期間とし、企画の再構築を行う



「可能性に気づき、伸ばしてほしい」とのメッセージ



学習の目的、ソフトの使い方などを学ぶ

### ① 里親会・自立支援施設からのヒアリング



## ■ケアリーバーへの食料支援の実施

- ・「令和5年度孤独孤立対策活動基盤整備モデル調査」事業を受託した全国フードバンク推進協議会と(株)日立製作所の仕組みづくりに、食料支援実行団体としての参加要請を受け、推進チームに加わった
- ・具体的な食料支援の枠組み作りのために、同チームとともに県内の里親会や自立支援施設を訪問。里親家庭やケアリーバー（里親のもとを離れて暮らす若者）の生活実態をヒアリング。これをもとに食料支援の方法を論議し、ベースとなるフローを構築した
- ・里親制度のうち、孫を養育する場合は公的支援が少なく、生活が厳しいことが分かった。またケアリーバーが県外で暮らすケースでは、周囲の人との新たな関係構築が難しく、孤立し困窮することがあると知った。多くは社会経験の乏しさや成育環境から、調理などの基本的生活スキルが不足しており、食料支援について配慮する必要性もあった

### ケアリーバーの状況

#### ■孤立に陥りやすい

- ・進学などで県外で暮らすケースが多いが、周囲との関係構築がうまくいかず孤立する場合がある
- ・山梨へ帰ろうと考えても、血縁・地縁が弱い「帰る場所」がなく八方ふさがりに

#### ■生活スキルの不足

- ・調理経験がない
- ・調理器具を持たない場合も（コンビニでお湯を手に入れる程度）
- ・日常生活上の諸手続き（振込用紙を受け取り支払う等）に対応できない



### 里親の状況

#### ■経済的に厳しい

- ・親族里親（孫を養育）への公的支援は養育里親等に比べて少なく食料支援のニーズがある



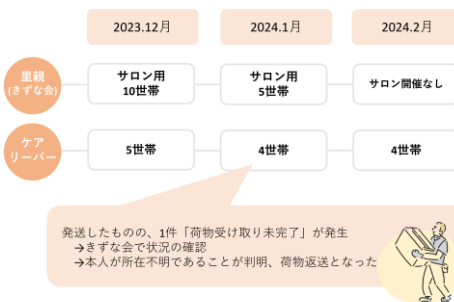
### 自立支援団体の状況

- ・ケアリーバーが暮らす場所を県外まで緊急訪問するケースも



対応した内容をまとめ全国の団体へ共有

### ② 支援実績と今後(1)



試行期間3か月間に里親支援として15世帯、ケアリーバー13世帯を支援

## (6)フードバンクこども支援プロジェクト

支援数 のべ **2,717** 世帯

長期休暇の子どもの欠食を防止し、健やかな成長をサポートする「フードバンクこども支援プロジェクト」では、のべ2,717世帯(子ども延べ5,233人)を支援しました

### ■行政機関と連携

・子どもの貧困対策連携協定を締結した、南アルプス市・中央市・笛吹市・山梨市・都留市・北杜市・大月市・上野原市・昭和町・身延町・山中湖村の11市町村と連携。管内の小中学校に通う準要保護世帯に学校を通じて当法人の食料支援案内を配布。希望する世帯は直接当法人に申し込み  
・県内各市町村の行政窓口には申請書を配布

### ■支援頻度・期間

7月・8月の夏休み期間中に2回。12月の冬休み期間中に1回

### ■対象とする世帯

準要保護世帯(就学援助などを受給している世帯)。18歳以下の子どもがおり、各行政窓口で支援が必要と判断された世帯。

### 夏の取り組み

#### ■寄贈図書の配布

企業から寄贈があった図書を年齢に合わせて食品と一緒に送った。幼児や低学年の子ども、その親から喜びの感想が多く寄せられた。

#### ■「簡単レシピ集」の作成と配布

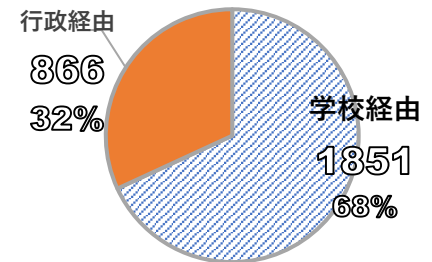
夏の健康を維持するために、夏休みに子どもと楽しく作る簡単レシピを同封した。

- ・缶詰や乾麺、防災品等を使って簡単に調理ができる手作りのレシプリーフレットを届けた
- ・レシピは山梨学院短期大学深澤早苗教授と共同で作成。アンケート調査で「食費を削る」の回答が多く、ヒアリングでも「食事をしない」「食事の量を減らす」「栄養不足が心配」「深刻な体調不良を訴える」などの声を受けて作成した

#### ■手作りのメッセージカード

山梨英和中学・高等学校YMCAひまわり部の皆さんからの手作りメッセージカードを届けた。

申請元比較(夏・冬のべ数)



高校生による箱詰め作業の様子



食品や日用品と共に図書とレシピ集を送った



手作りのメッセージカード

| 2023年夏<br>フードバンクこども支援プロジェクト<br>(7月・8月) |                      |
|----------------------------------------|----------------------|
| 支援世帯数                                  | のべ1793世帯             |
| 18歳以下の<br>子どもの人数                       | のべ3444人              |
| 母子世帯数割合                                | のべ1374世帯<br>(全体の77%) |
| 連携学校数                                  | 114校                 |

## 冬の取り組み

- 本年度は、食品や日用品の支援に加えてクリスマスプレゼントとして、ピザとシャンメリーの引換券を贈った
- ・子ども1人あたり2枚のピザと各家庭1本のシャンメリーと引き換えができる券を準備した
- ・クリスマスに間に合うよう、食品の箱とは別に郵送で送った
- ・住んでいる地域で、より近い店舗に引き換えに行けるように、店舗ごとに割り振った
- 山梨県新人職員、グレイスロード、山梨短期大学の学生の皆さんにクリスマスカードを作成していただき、各家庭へ贈った



引換え商品のピザとシャンメリー

| 2023年 冬 フードバンクこども支援プロジェクト |               |
|---------------------------|---------------|
| 支援世帯数                     | 924世帯         |
| 18歳以下の子どもの人数              | 1789人         |
| 母子世帯数割合                   | 708世帯（全体の77%） |
| 連携学校数                     | 114校          |

## 利用者からの声

本と7/11リコのおかし  
 はどうもありがとう。  
 とってもうれしかったよ。  
 本はもう読んでしまったよ。  
 とてもかわいい本でした。ありがとう!!  
 どうもありがとうございました!!!  
 とってもうれしかったです!!

いつもご支援いただきありがとうございます。先日、いちやまマートに行き、シャンメリーとピザをいただけてきました。皆さまのご配慮に胸が熱くなりました。12月24日の夜、娘たちといただくのがとても楽しみです😊

いろいろな場所やイベント等でスタッフの方々が食品を集めてくださっていて、多くの人たちからの善意が私のところに届いているんだなと思うと、大切にいただこうと思いますし、これからも頑張らなきゃ!と前向きな気持ちになります。いつもいつも本当にありがとうございます。この感謝の気持ちを忘れず、頑張ります!

いつも貴重な食料や日用品、そして思いやりの伝わるプレゼントやメッセージの数々をありがとうございます。何年もフードバンク様からのご支援をいただく中で金銭的にも余裕がないなど不安に思う日々から、そろそろフードバンクの荷物が来るから大丈夫だと思わせていただくような心の余裕ができることが感じられています。頼ってはいけない、頼れないと思っている中でそんなことを考えるのも不謹慎だと思いながらも私たち家族2人の中では、楽しみよりも不可欠な存在にあることをお伝えさせてください。



## (7)乳幼児応援プロジェクト

支援数 のべ **262** 世帯

県内ドラッグストアチェーンと連携し、食料支援を利用する世帯で未就学児がいる家庭を対象に、食品と共に「おむつ」「ミルク」の引換券を配布

### ■行政と連携

県下27自治体と社協の窓口チラシを配布した

### ■支援頻度・期間

4月・11月の年2回

### ■対象とする世帯

未就学児がおり、児童扶養手当を受給している世帯か住民税非課税の世帯。または、各行政機関で支援が必要と判断された世帯

### 直接配布型の支援へ

#### ■対象者の見直し

今年度から、より生活に困っている世帯へ支援を届けるために、対象を住民税非課税世帯、または児童扶養手当受給世帯に変更した。配布当日に受給している制度の証明書を受付で提示してもらい、食品を配布する形で支援を実施した。

#### ■宅配から会場での食品配布へ

県内フードバンクを含めた会場での直接受け取りと、当法人の敷地内に設置した無人ロッカーでの受け取りで実施した。

#### ■おむつ・ミルクの配布方法見直し

品物の提供に代えて必要な世帯にチケットをお渡しした。



直接配布の様子



お子さんが喜ぶ食品や雑貨も用意



ミルク・おむつの配布はチケット制



ロッカーは24時間受け取り可能

### 利用者からの声

いつもみなさまの温かいご支援ありがとうございます。  
今回もたくさんの品を受け取らせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

食料品だけではなく洗剤などの日用品、化粧品、子ども服なども譲っていただき本当にありがとうございました。  
値上げばかりで、通帳を見てはため息ばかりで先行きの見えない不安に落ち込むことも多いですが、こうして受け取り、子どもが嬉しそうにお菓子を取ったり、洋服を着たり、私も普段買えないような良質な化粧品をつけたりとすることで明るい気持ちになることに気づきました。  
世の中も辛い中、こうして定期的なご支援をしてくださること、大変かと思いますが、たくさんの方々の支えがあることを忘れずに生きていきたいです。

## (8)相談支援

### フードバンク山梨の食料支援を受けている世帯へ、約404件の 相談支援・訪問支援を実施

#### ■相談支援、訪問支援の実施

食のセーフティネット事業をはじめ、各食料支援の利用者、各市の自立支援相談窓口の依頼、返信用ハガキ、相談フォームの相談内容によって、必要な世帯への電話相談やアウトリーチを実施。

#### ■対象とする世帯

- ・フードバンク山梨の食料支援を受けている世帯
- ・電話での問い合わせや相談のあった生活困窮者



#### 2023年度のトピック

#### ■各市の自立支援相談実績

県内5市（中央市、山梨市、笛吹市、都留市、上野原市）においては、毎月の食料支援と相談件数を報告。

#### ■電話相談

フードバンク山梨の食料支援を受けている世帯で、生活困窮が重篤な世帯や支援が長期化している世帯、新規で支援を開始した世帯などに定期的に電話連絡し、生活状況や近況、食品の活用などのヒアリングを実施。相談内容によっては訪問相談へ繋げた。

#### ■訪問相談

食料支援を受けている世帯の中でより複合的な課題を抱えている世帯に対しては、訪問をし本人の状況や生活環境などをより深く聞くことで、事情に合った情報提供や行政への相談アプローチの改善、支援物資の提供などに繋げ、状況の改善・解決を目指している。

### 【相談や行政支援につながった事例】

#### 行政窓口と繋がり支援につながる

##### 【経緯】

フードバンク山梨の直接配布にて申し込みがあり聞き取りを実施。10匹の猫と内縁の妻と車上生活をしており食べ物が無い。本人が行政へ相談するが支援につながらず。生活保護の受給も検討したが、県外に住む息子から反対があったため申請はしない。

##### 【対応】

他のNPO法人に相談するなどして、無事に住居先が決まり転居。また、転居先の行政窓口がフードバンク山梨と連携している自治体であったため、食のセーフティネット事業で1ヶ月2回の食料支援と訪問相談を実施。

##### 【結果】

妻の生活保護受給が決定。本人の就労も決定し、10匹の猫は譲渡会へ出していくことに。

#### センターへ本人が来訪。 行政窓口へと繋がり自立へ

##### 【経緯】

年金引き出し後に車上荒らしに合ってしまいお金がない状況。食料支援を求めて来訪。水道とガスコンロで生活をしており、電気・ガスは停止中。携帯がないため電話不可の状態。現住所と本籍が違うため、それぞれの行政窓口相談したが管轄が違うと支援につながらず。

##### 【対応】

フードバンク山梨から1回限りの食品支援を行い、改めて各行政窓口担当者に相談。結果、現住所の社協に支援を依頼。

##### 【結果】

次回年金受給まで、社協窓口が本人の状況確認と緊急食料の提供を行い、無事に年金受給日を迎え生活が安定し支援終了に。



## (9) 学習支援

支援数 のべ **162** 名

### ①Twinkle Stars Academy

ITスキルとグローバルな視点を身に着け、世界で活躍できる人材を育てることを目指し、小中学生を対象に無料のプログラミングと英会話の教室を開催

開催期間：2023年7月～2024年3月 全9回

毎月1回日曜日 10:00～14:00

登録人数：20名（小3～中3）

対象：こども支援プロジェクトを受けた世帯

主催：ヴィジョナリーパワー(株)・フードバンク山梨

協力：(株)スクーミー・(学)バンビバイリンガル学園

イングリッシュプラス(株)・(株)まもかーる



ゲームで英会話に親しむ



小学生がオリジナルゲームを手作りコントローラーで操作



中学生がチームで携帯アプリ制作

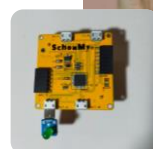
#### 保護者の声

- \* 子どもの選択肢をひろげる機会だと思っている
- \* 異年齢の子どもが一緒に活動するのがよい
- \* 子どもにとっていい大人との出会いは大切



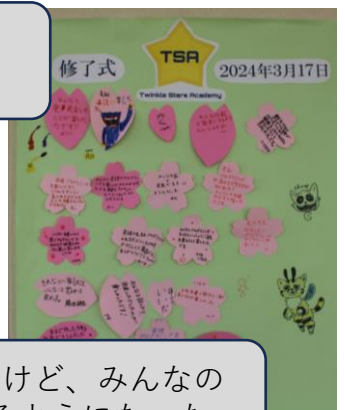
登録者が欠けることなく  
終えたTSA修了式  
皆勤者も8名

いっぱいともだちつくって  
楽しくプログラミングできた



スクーミーボード

きんちょうしたけど、みんなの  
前で発表できるようになった





## ②ももっ子クラブ

支援数 のべ **156** 名

子どもたちと大学生が、みんなで一緒に勉強し、遊び、楽しく過ごす居場所を提供。  
学習支援での学力の向上、ロールモデルとなる大学・高校生との交流、  
おやつや食品も配布しています

開催期間：2023年4月～2024年3月  
 毎週土曜日 13:00～17:00

実施回数：39回

登録人数：7名（小1～中3）

対象：学習や生活に困難を抱えている子どもたち

開催場所：有野事務所（前期）・ひまわり支所（後期）

主催：アラベスク（大学生ボランティアグループ）



大学生と一緒に宿題や受験勉強

- ・大学生＆高校生のお兄さんお姉さんと一緒に勉強やゲーム、おしゃべりをして、楽しい時間を過ごした
- ・学習や進学のアドバイスだけでなく、時には悩みを聞いてもらったり相談にのってもらったりした
- ・軽度発達障がいのある子には、その子に合わせた学習支援を行った
- ・中学3年生2名が志望の高校へ進学した



参加者全員でゲームを楽しむ

## (10) 支援を求める人へわかりやすい情報発信

### 誰もが容易に必要な食にアクセスできる環境整備に向けて

■支援を求める人に向けた特設ページ設置検討  
 県内フードバンクと連携した支援を進めるために、支援を求める人向けのチラシを作成するも、ホームページ上にページを開設することは未達成。

#### ■LINEの利用推進

食料支援利用者のためのラインアカウントを作成。利用者にとって利用しやすい環境を整備。

・「つながるスマイルプロジェクト」では月に1度の支援申し込み方法としてLINEが定着。

・「フードバンクこども支援プロジェクト」利用者に「プラス2回」の食料支援の申し込み呼びかけ時にLINEを活用。個別のやり取りをスムーズ行うことができた。

今後、公式アカウントの効率的な活用を検討する。



必要な方が支援にアクセスしやすい方法として今後も活用を進める

## 2. 食品ロス削減と食品管理

2022年12月から新センターでの活動が本格的に始動。  
年間取扱量400トンを目指し、2023年度は376トン(94%)を達成しました

### 食品取扱(受入)量

物価高騰の影響を受ける中であったが  
企業・団体、一般市民の方々、スクールフー  
ドドライブ等、たくさんのご協力のもと、食  
品取扱量は376トン、前年比137%で過去最高  
となった。



センター稼働後最多の取扱となった

### 食品提供量

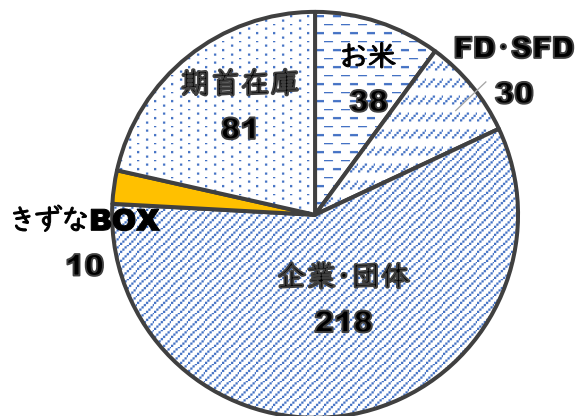
各支援での支援世帯数の増加に伴う  
食品の取り扱い、施設・団体向配布の実施  
もあり、食品提供量303トン、前年比158%と  
過去最多となった。



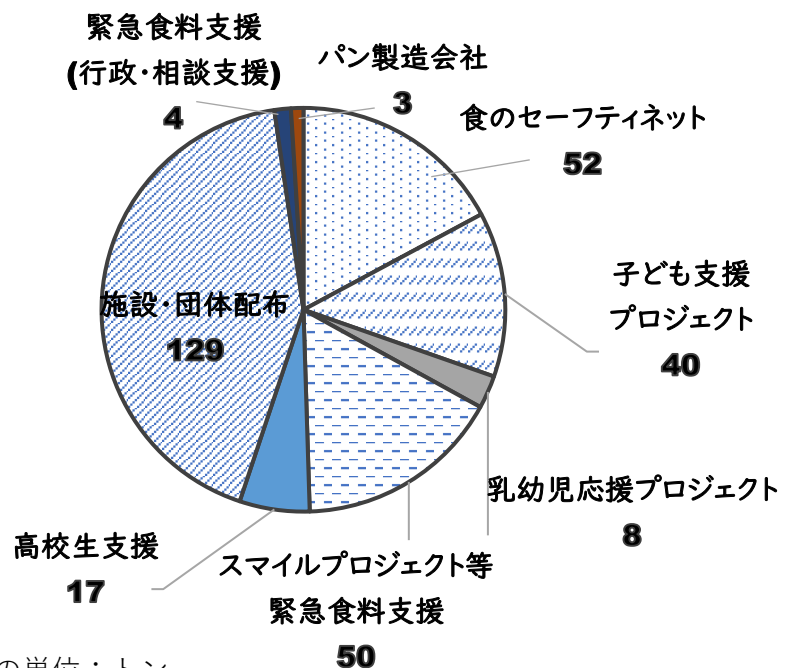
企業からの大量寄贈を積極的に受け入れ

### 食品取扱重量と食品提供重量

食品**取扱量**  
376トン (前年比137%)



食品**提供量**  
303トン (前年比158%)



\* 数字の単位：トン

## (1) 企業・団体からの食品・日用品の収集とフードドライブの定期開催

収容能力を生かし、メーカーからの大口寄贈を積極的に受け入れ。  
安定的な食料支援に貢献しました

### 食品の収集

食品の受け入れは296トンで、前年比137%と伸長した。

新センターの広さを生かし、より多くの食品・日用品の受け入れや、特に全国フードバンク推進協議会とのマッチングからの大口寄贈を積極的に受け入れた。



全国フードバンク推進協議会  
経由での寄贈

### フードドライブの取り組みを推進

#### ■年2回のフードドライブ強化月間の実施

- ・チラシの配布をおこなった他、希望のあった企業へは食品回収BOXやのぼり旗の貸し出しを行い、多くの企業団体からフードドライブでの食品が集まった。
- ・PTAや生徒が主体となって行うスクールフードドライブでは、年間を通し43校・園の参加があった(夏26・冬17校・園)。

冬のスタートイベントは15周年イベント内のセレモニーにて開始宣言をおこなった。



大口寄贈の受け入れ

### きずなBOX

J A 南アルプスAコープ・株式会社いちやまマート、2社15店舗での設置を継続し、10.3トンの寄贈があった。



きずなBOXの回収

### パンの寄贈

製パン会社から継続的に9施設へ3トンの寄贈があった。製パン会社担当者とフードバンク山梨スタッフで各施設へ訪問をし、今後の配布についてのヒアリングをおこなった。



スクールフードドライブの受け入れ



## 日用雑貨

日用品は、主に直接配布・相談支援での訪問・施設・団体などへ配布をしたが、どの場面でもニーズが高かったため、積極的に受け入れた。

日用品を取り扱う企業からは化粧品や歯ブラシ、マスクやこども向けのぬいぐるみなど様々な日用品の寄贈があり、パレット単位での寄贈も受け入れをした。

一般寄贈者からは、マスクや洗濯洗剤などの寄贈が多かった。

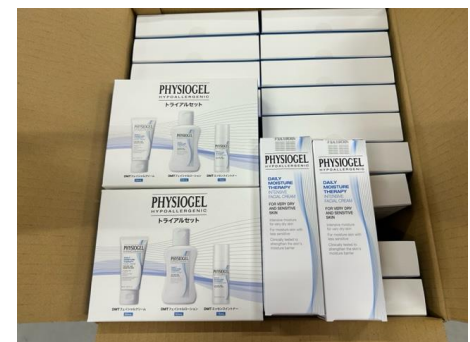


寄贈のあった日用品(歯ブラシなど)

## 年間受入重量

物価高騰などの状況の中、一般寄贈者やスクールフードドライブなど多くの方々からの寄贈があった。

特に企業・団体寄贈は、防災品等も含め前年度から大幅に増加した。



寄贈のあった日用品(化粧品)

## 一般寄贈者からの寄付

|                 |                     |      |
|-----------------|---------------------|------|
| フードドライブ<br>68トン | お米                  | 38トン |
|                 | 食品(米以外)             | 25トン |
|                 | 日用品                 | 1トン  |
|                 | スクール<br>フードドライブ     | 4トン  |
| きずなBOX<br>10トン  | いちやまマート<br>13店舗     | 1トン  |
|                 | JA南アルプス<br>Aコープ 2店舗 | 9トン  |

## 製造企業・団体からの寄贈

|             |       |
|-------------|-------|
| 企業・団体からの寄贈  | 215トン |
| パン製造会社からの寄贈 | 3トン   |



企業単位の定期的なフードドライブも広がっている

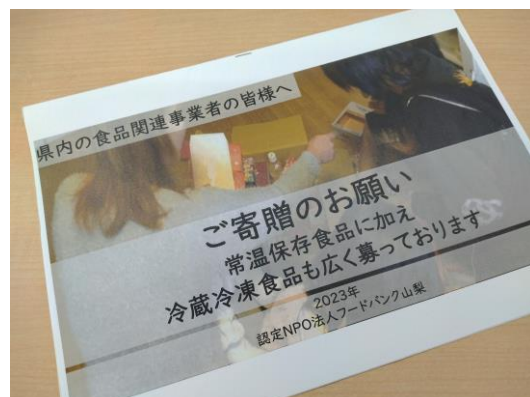


新たな企業・団体のフードドライブも

## (2)食品寄贈企業の開拓

新センターでの更なる食品の取り扱いを目指し、マッチングのない県内食品製造企業70社へ、食品寄贈お願いのお手紙を活動報告とともにお送りし呼びかけを行いました

返事のお問い合わせは1社あったが、食品寄贈における損金算入可能なことなどの周知不足が推測されるため、今後の周知の際には企業にとってのメリットなども合わせてお知らせしていく。  
今後もSNSの活用や活動の周知をおこない、新規企業の開拓を進める。



活動概要を紹介し寄贈を呼びかけた

## (3)年間食品配布量は過去最多となる303トンに増加

対象者の属性に応じて複層的に実施したことで、より幅の広い層へ、よりきめ細かな支援が可能になりました

### ①様々な対象者層へ食料支援

新センターや県内フードバンクにおける各拠点での手渡しの食品配布も定着し、利用者からの声をダイレクトに聞く機会や交流の時間が増えた。

### ②年間提供重量

#### 取り組みごとの配布量(303トン)

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 食のセーフティネット        | 52トン  |
| フードバンクこども支援プロジェクト | 40トン  |
| 乳幼児応援プロジェクト       | 8トン   |
| 高校生支援             | 17トン  |
| スマイルプロジェクト等緊急食料支援 | 50トン  |
| 緊急食料支援(行政・相談支援)   | 4トン   |
| 施設・団体への配布         | 129トン |
| パン製造会社から9施設へ寄贈    | 3トン   |



配布時の様子



食品箱詰め作業の様子



## (4)新センターにおける効率的な食品管理と運用の実現

適切な食品管理に努め、作業スペースを最大限に活用できる物品の配置、効率的な作業オペレーションの組み立てを実施しました

### 食品の品質と衛生管理

農林水産省「フードバンク活動における食品の取り扱い等に関する手引き」を管理基準とし、内容に沿った管理を務めた。

### 新センターでの倉庫管理

#### ■作業場所・食品保管場所の定着

- ・食品仕分け、箱詰め作業場所の確保をし、ボランティアとの作業がスムーズにおこなえるよう努めた。
- ・活動の中での食品・日用品の出入りは流動的ではあるが、保管場所を確保しより多くの食品や日用品の取り扱いが実現した。

#### ■棚を使用しての食品管理

上下連結棚を使用し食品の管理をおこなった。棚上に保管する食品は期限の長い食品にしたりと工夫をした。

#### ■新たに2台の真空機械の導入

米2kgの袋詰め作業のさらなる効率化のため新たに真空機械を2台購入し、真空作業の稼働率が上がった。

#### ■レイアウト変更による倉庫作業の効率化

センター入り口付近に重量計を設置したことで食品寄贈のあった時点で重量の報告が可能に。棚の位置を変更したことで食品が取りやすくなったりと倉庫作業のさらなる効率化をはかった。

### 整理整頓と清掃の維持

スタッフやボランティアが行き来する場所を中心に毎日の清掃を継続した。

- ・作業終了後のほうきがけ。
- ・フォークリフトの清掃・法人車の洗車
- ・精米機使用後の作業場の清掃 等

日用品の保管は、中央市ひまわり支所も引き続き活用した。



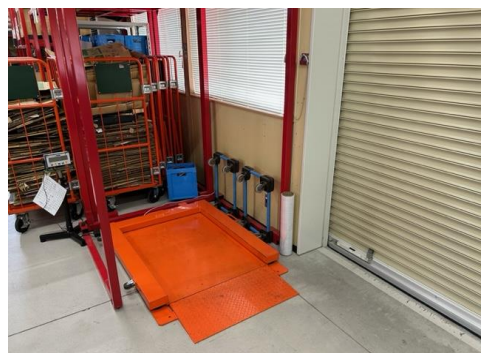
箱詰め作業時のレーン



食品保管棚の有効活用



新たな真空機の導入



シャッター入口へ配置した重量計



## (5) 冷凍・冷蔵品の取り扱いの確立

**新センターでは、大型の冷凍・冷蔵庫を導入。冷凍・冷蔵食品を取り扱う企業からの食品の受け入れを本格的に開始しました**

### 冷凍・冷蔵食品の受入・配布

継続的に寄贈をしてくださっている企業や、メール・電話での問い合わせがあった企業からの冷凍食品を積極的に受け入れた。（7社）

- ・配布先は、利用者へ直接配布をおこなうスマイルプロジェクトや冷凍庫を完備している施設・団体や県内フードバンクへ配布をおこなった。

今後も継続して冷凍・冷蔵品寄贈の周知活動や県外フードバンク団体と連携し、冷凍・冷蔵食品の取り扱いを増やしていく。



冷凍庫内の様子



冷凍ケーキの寄贈

## (6) 施設・団体への配布促進

**定期的な食品の提供に加え、登録施設・団体のニーズに柔軟に対応し129トンの食品等を配布。地域のつながりがより強固に**

### 施設・団体への配布

#### ■施設・団体向け一斉配布の実施(年4回実施)

確約書締結施設・団体に対し、大口寄贈のあった食品や日用品を、オンラインのスプレッドシートでニーズ調査を行い、希望する施設・団体へ配布をおこなった。

#### ■施設・団体からの要望に対応

毎月パントリーを実施している団体、子ども食堂や福祉施設内でのレクリエーションなど様々な場面で使用する食品希望が多くあり、各月に提供可能な食品や日用品を提供した。

#### ■施設・団体ごとのニーズに合わせた支援

パントリー団体、子ども食堂からは、簡単に調理可能なカップ麺やレトルト、飲料、お菓子などが特にニーズが高く、施設内で給食をおこなっている福祉施設からは調味料やお米のニーズも高かった。



食品のお渡し



一斉配布の様子

### 3. 寄付活動・広報

#### (1) 活動への寄付の呼びかけ

個人寄付者809名・法人226社の多くの協力が、活動の大きな推進力に

既存寄付者へは領収書にお礼状を添え、取り組みの進捗や利用者の声など、ご支援で可能になった活動の成果を丁寧にお伝えしました。また、新たな層への支援のお願いを並行して取り組みました

2023年度

4月

乳幼児応援  
プロジェクト

個人1,240名

取り組みテーマに  
合わせて  
チラシ・封筒を  
作成

5月

6月

7月

法人設立  
15周年企画

山梨県医師会  
会員医療機関 494か所

8月

9月

法人78社

10月

フードバンクこども支援  
プロジェクト

個人・法人計1,823通

11月

12月

「フードバンク  
未来アカデミー」

県内のIT企業10社訪問

1月

2月

高校生  
お腹いっぱい  
大作戦

3月

クラウド  
ファンディング

法人292社



#### ■日常的に感謝と実績を丁寧に伝えました

領収書に同封するお礼状と共に、取り組みの進捗や利用者の声など、ご支援で可能になった活動の成果を丁寧にお伝えした。

#### ■共感とご寄付につなげる工夫を絶えず実施

お礼の手紙と活動状況が分かる資料、特別なご案内だと一目でわかる封筒をセットでお届けするなど、受け取る方の心に響く方法を工夫した。

■最新情報をお届けし、ご協力をお願いしました  
経年で取り組む重点企画（フードバンクこども支援プロジェクト）に加え、支援を求める声に応じて生まれた新しい取り組みの紹介と、ご協力のお願いを継続して行った。

#### ■「遺贈」相談への対応準備を進めました

継続寄付窓口を委託するREADYFOR(株)のセミナーを受講し、遺贈対応サービスを使用することを確認。情報収集や学習を重ね、お志を受け止める体制づくりに努めた。



## 特別法人会員企業一覧

\* 2023年1月～2024年4月（順不同）

小林製薬株式会社 東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ株式会社  
株式会社タンザワ 宗教法人生長の家 株式会社ネオシステム ツルヤ化成工業株式会社  
株式会社はくばく 昭和南耳鼻咽喉科クリニック 株式会社エム・シー・エス  
生活協同組合ユーコープ 旭陽電気株式会社 ヒロセ電気株式会社 株式会社内藤製作所  
株式会社テレビ山梨 医療法人田辺産婦人科 株式会社アースリンクイノベーション  
株式会社サンポー 株式会社エヌディエス 株式会社シャトレゼ 株式会社シンク  
株式会社エノモト ファスフォードテクノロジー株式会社 有限会社南口運輸倉庫  
株式会社甲府大一実業 有限会社峡西シーエーテーブル 有限会社山梨検査センター  
株式会社クロスフォー 有限会社ペリー商事 株式会社オーテックメカニカル  
株式会社福島運輸 株式会社クスリのサンロード なかえこどもクリニック  
オプトホーム株式会社 有限会社保泉商事 株式会社サンワライフ保険  
長田組土木株式会社 昭和総合警備保障株式会社 フォネットグループ 富岳通運株式会社  
トヨタエルアンドエフ山梨株式会社 株式会社メイコー 株式会社F U J I S E Y  
富士急行株式会社 住友林業株式会社 住宅建築事業本部 甲府支店  
株式会社Toshin 浄土真宗本願寺派大正寺 株式会社藤石材 株式会社新和運輸  
ヒューコムエンジニアリング株式会社 山梨スズキ販売株式会社 山梨ダイハツ販売株式会社  
株式会社ササキ 有限会社ジーエヌコーポレーション コミヤマエレクトロン株式会社  
株式会社オーク 医療法人碧山会 甲府昭和婦人クリニック 土屋眼科医院  
医療法人立史会 今井整形外科医院 医療法人快療会 くつま整形外科医院  
医療法人久悠会 津久井胃腸科医院 山梨日野自動車株式会社  
株式会社パルライン 株式会社山梨中央銀行 株式会社坂本建運 有限会社総合電化小林  
株式会社サニカ 生活協同組合パルシステム山梨 長野 パルシステム共済生活協同組合連合会  
パルシステム生活協同組合連合会 株式会社オーテックエレクトロニクス 共信冷熱株式会社  
小澤こころのクリニック 医療法人優心会 竜王レディースクリニック 株式会社 M's gift  
オギノ食糧株式会社 株式会社システムインナカゴミ 株式会社尾澤工業 テクト株式会社  
清水内科クリニック 株式会社早野組 株式会社ジインズ 住友生命保険相互会社 山梨支社  
株式会社太陽設計 株式会社内藤ハウス

計84社・団体

皆様のご支援に心より感謝申し上げます



## (2) 広報活動

### リリース17回・メディア掲載84回の実績。県内外の多様なメディアに対応しました

#### ■「認知拡大」のための取り組み

ホームページやSNSなど自団体の媒体の活用のほか、新聞・テレビ・ラジオなど、地域メディアを中心とした媒体へ活動の掲載を依頼。「まずは知ることから」を実践し、多くの理解、共感を得、参加者の拡大につながった。

#### ■「支援の充実」のための取り組み

支援を受けたい方がスムーズに情報を得られ、支援につながるよう、ホームページ等団体メディアでの情報発信をすすめた。



テレビ局の取材に対応

### 2023年度のトピック

#### ■無料配信プランを利用したプレスリリース

プレスリリース配信サービス(株)PR TIMES「非営利団体サポートプロジェクト」の審査により無料利用が可能に。2023年7月以降14件を配信。複数の取材につながった。

#### ■積極的な視察・講演活動

新型コロナウイルスが5類に移行し、県内外問わず講演・視察依頼が増加。活動の実態を直接届けられる貴重な機会として、今後も対応していく。



山梨県立巨摩高等学校で全校生徒へ講演

### 2023年度PR TIMES配信プレスリリース一覧

|    | 配信日    | テーマ                                                                             |
|----|--------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 7月27日  | 「ナツボラ」-君のチカラで誰かを笑顔に-7日間のボランティアに高校生のべ228名が参加します                                  |
| 2  | 9月12日  | 【約1000世帯への夏の食料支援完了】のべ235名の高校生による「ナツボラ」-君のチカラで誰かを笑顔に-                            |
| 3  | 10月6日  | フードバンク山梨は10/15（日）法人設立15周年記念の催しを開催します                                            |
| 4  | 10月25日 | 【開催報告】10/15（日）に法人設立15周年記念イベントを開催しました                                            |
| 5  | 11月7日  | 【子どもの貧困対策】「あなたのご寄付が子どもたちの笑顔に」クリスマスに2,000人の子どもたちに、ひとり1,000円分のギフト券を届けるための寄付活動を開始！ |
| 6  | 11月27日 | 「スポーツの力」で温かな協力の輪を広げたい！「萩原智子杯」でフードドライブを実施します                                     |
| 7  | 12月6日  | 【緊急】-物価高騰に立ち向かう食品の架け橋- 12/27（水）フードバンク山梨は緊急食品配布会を実施します                           |
| 8  | 12月13日 | 【子どもの貧困対策】【過去最多の支援数】クリスマスに約2,000人の子どもたちへ食品を送ります！                                |
| 9  | 12月18日 | 「スポーツの力」が結集！「萩原智子杯」でフードドライブを実施しました                                              |
| 10 | 12月20日 | 【フードバンク山梨から中間報告】給食の無い冬休みの子どもも約2,000人への支援を開始！                                    |
| 11 | 1月9日   | 【令和6年能登半島地震】石川県珠洲市に、緊急支援物資を提供しました                                               |
| 12 | 1月31日  | フードバンク山梨 バレンタインアクション2024【あなたの力が必要です！】                                           |
| 13 | 2月16日  | 【フードバンク山梨】2/25（日）プログラミング・英語学習の成果発表会を開催します！                                      |
| 14 | 3月25日  | 子どもの貧困と自立を描いた絵本を全国の図書館に届けたい！                                                    |



## 2023年度 テレビ・ラジオでの放送実績

| 日時         | 放送局             | 内容                                                     |
|------------|-----------------|--------------------------------------------------------|
| 2023/5/15  | テレビ山梨           | UTYすごろく フードドライブについて                                    |
| 2023/5/17  | NHK甲府放送局        | フードバンクスタートアップセミナー                                      |
| 2023/5/23  | NHK甲府放送局        | かいどき アンケート結果                                           |
| 2023/5/29  | UTYテレビ山梨        | 「困っている方にそっと手を差し伸べられる」 連合山梨が食料500kgを寄付 フードドライブへの協力呼び掛けで |
| 2023/5/29  | YBS山梨放送         | 連合山梨がフードドライブに参加 余剰食品を寄贈 山梨県                            |
| 2023/7/7   | NHK甲府放送局        | 食料支援のNPO法人など プログラミングや英語の指導開始へ                          |
| 2023/7/18  | NHK甲府放送局        | 経済的に貧困な子どもが英語など無料で学ぶ講座の開講式 中央市                         |
| 2023/7/18  | NHK             | クローズアップ現代 食費節約で“低栄養”に！～「値上げ時代」どう健康を守る～                 |
| 2023/7/31  | NHK             | おはよう日本 夏休み不安抱える困窮子育て家庭                                 |
| 2023/8/7   | フジテレビ           | めざまし 8                                                 |
| 2023/9/1   | NHK甲府放送局        | 甲府市の新電力会社 収益の一部をフードバンクに寄付                              |
| 2023/10/16 | UTYテレビ山梨        | 菓子や化粧品、本などを無料で配布 フードバンク山梨 設立15周年記念イベント                 |
| 2023/10/16 | TBS NEWS DIGEST | 菓子や化粧品、本などを無料で配布 フードバンク山梨 設立15周年記念イベント                 |
| 2023/11/14 | TOKYO FM        | 「ONE MORNING」冬のKSP寄付活動について                             |
| 2023/11/19 | NNS             | 「ジモラブ」コーナー／フードドライブ・きずなボックスと食料支援について                    |
| 2023/12/8  | UTYテレビ山梨        | お菓子やシリアル食品など370kgをフードバンク山梨に寄贈 自動車関連会社の従業員団体            |
| 2023/12/10 | UTYテレビ山梨        | 目指せ！未来の“ハギトモ” ジュニアスイマーがタイム競う シドニー五輪出場・萩原智子さん主催の水泳大会    |
| 2023/12/11 | FM甲府            | 年末緊急支援について                                             |
| 2023/12/12 | YBSラジオ          | 年末緊急支援について                                             |
| 2023/12/17 | NNS             | 「ジモラブ」コーナー／山梨トヨタ・ネットトヨタ フードバンク山梨への食料支援                 |
| 2023/12/21 | UTYテレビ山梨        | エコフェス会場で来場者から寄せられた募金 フードバンク山梨に寄付                       |
| 2023/12/26 | YBS山梨放送         | 年末緊急支援について                                             |
| 2024/1/31  | NHK甲府放送局        | バレンタインデーに向けて特設会場開設 甲府市の百貨店                             |
| 2024/3/25  | UTYテレビ山梨        | フードバンクが子どもの貧困テーマに絵本制作 図書館などに贈るためクラファン開始                |
| 2024/3/25  | NHK甲府放送局        | 絵本通じ貧困に理解を クラウドファンディングで出版費用募る                          |
| 2024/3/28  | FM FUJI         | FM FUJI 『Bumpy』 CLOSE UP TODAY                         |



## 2023年度 新聞・デジタルメディア 放送実績

| 日時         | 新聞名            | 掲載内容・掲載タイトル                                                      |
|------------|----------------|------------------------------------------------------------------|
| 2023/4/1   | 山梨日日新聞         | 困窮世帯に食料を配布 フードバンク山梨                                              |
| 2023/4/16  | 山梨日日新聞         | 「元気甲州人」 全国フードバンク推進協議会代表理事 米山広明さん                                 |
| 2023/5/7   | 読売新聞           | 子どもに居場所学習支援 学生団体アラベスク                                            |
| 2023/5/18  | 山梨日日新聞         | 食料支援のノウハウ伝授-フードバンク山梨がセミナー-                                       |
| 2023/5/19  | 読売新聞           | フードバンク 地域拠点募る 認定NPO困窮家庭増で「協力を」                                   |
| 2023/5/24  | 山梨日日新聞         | 困窮世帯5割 食事回数減 フードバンク調査来月緊急支援                                      |
| 2023/5/30  | 読売新聞           | フードバンクに米など500キロ寄贈 連合山梨                                           |
| 2023/5/30  | 山梨日日新聞         | フードバンクに食料品503キロ寄贈 連合山梨                                           |
| 2023/5/31  | 読売新聞           | 食料支援世帯「食事回数減らす」5割                                                |
| 2023/6/11  | 山梨日日新聞         | 困窮世帯に緊急支援-フードバンク食料150世帯へ                                         |
| 2023/6/20  | 山梨日日新聞         | 食品回収活動を強化 夏休みの子ども支援へ                                             |
| 2023/6/23  | 山梨日日新聞         | 食料支援 ニーズ倍増                                                       |
| 2023/6/24  | 山梨日日新聞         | 米などの食料フードバンクに贈る 県弁護士会                                            |
| 2023/6/29  | 読売新聞           | フードバンクに米や麺など寄付 県弁護士会                                             |
| 2023/6/30  | 山梨新報           | 県弁護士会が米など75キロ支援                                                  |
| 2023/7/1   | 山梨日日新聞         | フードバンクに食料寄贈 市川三郷の3団体連携                                           |
| 2023/7/7   | 山梨新報           | 物価高騰 秋に支援現象を危惧                                                   |
| 2023/7/7   | 山梨日日新聞         | フードバンクに組合員浄財寄付 ユーコープやまなし県本部                                      |
| 2023/7/19  | 山梨日日新聞         | フードバンクに募った食品寄付 中央市職員互助会                                          |
| 2023/7/26  | 山梨日日新聞         | コメやカップ麺48キロフードバンクに贈る アドバンステクノロジー                                 |
| 2023/7/29  | 山梨日日新聞         | 社員から食料品集めフードバンクに送る 昭和警備保障                                        |
| 2023/8/5   | 読売新聞           | 物資箱詰め「人の役に」南アのフードバンク 高校生40人                                      |
| 2023/8/9   | 山梨日日新聞         | ネットヨタ山梨FD                                                        |
| 2023/8/18  | 山梨日日新聞         | 給食ない夏休み 深刻化 県内困窮世帯物価高で支援要請増                                      |
| 2023/8/23  | 山梨日日新聞         | 食料品箱詰め 高校生も作業                                                    |
| 2023/10/06 | BIGLOBEニュース    | フードバンク山梨は10/15（日）法人設立15周年記念の催しを開催します（PR TTIMES）                  |
| 2023/10/6  | 時事ドットコムニュース    | フードバンク山梨は10/15（日）法人設立15周年記念の催しを開催します（PR TTIMES）                  |
| 2023/10/25 | 読売新聞オンライン      | 【開催報告】10/15（日）に法人設立15周年記念イベントを開催しました（PR TTIMES）                  |
| 2023/10/25 | 富士山経済新聞        | 【開催報告】10/15（日）に法人設立15周年記念イベントを開催しました（PR TTIMES）                  |
| 2023/10/25 | 時事ドットコムニュース    | 【開催報告】10/15（日）に法人設立15周年記念イベントを開催しました（PR TTIMES）                  |
| 2023/10/16 | 山梨日日新聞         | フードバンク設立15周年祝う                                                   |
| 2023/10/28 | 毎日新聞&WEB版      | 続く物価高、フードバンク直撃 誰もが暮らしやすい国に 夏休み利用最多／企業寄付減少／山梨                     |
| 2023/11/11 | 山梨日日新聞         | 富士山麓電気鉄道とJR東日本FD                                                 |
| 2023/11/26 | 山梨日日新聞         | 三井住友海上火災保険FD                                                     |
| 2023/11/26 | 読売新聞           | 「ハギトモスマイル」社会問題にスポーツの力                                            |
| 2023/12/6  | 時事メディカル（WEB）   | 【緊急】-物価高騰に立ち向かう食品の架け橋- 12/27（水）フードバンク山梨は緊急食品配布会を実施します（PR TIMES）  |
| 2023/12/10 | ガジェット通信（WEB）   | 【山梨県南アルプス市】「フードバンク山梨」が物価高騰の影響を受け、生活に困っている人へ向け食品を配布（PR TIMES）     |
| 2023/12/11 | グノシー           | 【山梨県南アルプス市】「フードバンク山梨」が物価高騰の影響を受け、生活に困っている人へ向け食品を配布（PR TIMES）     |
| 2023/12/14 | 富士山経済新聞        | 【子どもの貧困対策】【過去最多の支援数】クリスマスに約2,000人の子どもたちへ食品を送ります！（PR TIMES）       |
| 2023/12/15 | 時事ドットコムニュース    | 【子どもの貧困対策】【過去最多の支援数】クリスマスに約2,000人の子どもたちへ食品を送ります！（PR TIMES）       |
| 2023/12/18 | 山梨日日新聞         | フードバンクにコメや飲料寄贈 損保ジャパンなど3団体                                       |
| 2023/12/19 | BIGLOBEニュース    | 「スポーツの力」が結集！「萩原智子杯」でフードドライブを実施しました（PR TIMES）                     |
| 2023/12/20 | 朝日新聞           | 「物価高に苦しんでいる子育て世帯へ、“サンタ”から温かいプレゼント」子ども支援プロジェクト発送作業                |
| 2023/12/21 | 朝日新聞           | 「温かい年末年始を」子ども支援プロジェクト発送作業                                        |
| 2023/12/22 | 富士山経済新聞        | 【フードバンク山梨から中間報告】給食の無い冬休みの子ども約2000人への支援を開始！（PR TIMES）             |
| 2023/12/22 | BIGLOBEニュース    | 【フードバンク山梨から中間報告】給食の無い冬休みの子ども約2000人への支援を開始！BIGLOBEニュース（PR TTIMES） |
| 2023/12/27 | 山梨日日新聞         | フードバンクに10万円の寄付金 尾澤工業                                             |
| 2023/12/28 | 山梨日日新聞         | 年越し 困窮世帯を支援 フードバンク緊急の食料配布                                        |
| 2023/12/30 | 山梨日日新聞         | フードバンクに物資支援 英和大学生ダルクにも                                           |
| 2024/1/7   | 山梨日日新聞         | 能登地震 衛生用品珠洲に輸送 フードバンク山梨 要請受け支援                                   |
| 2024/1/10  | 朝日新聞           | 被災地のニーズ、「刻々と変化」 支援物資運んだフードバンク団体【能登半島地震】＜デジタル版＞                   |
| 2024/1/11  | 読売新聞           | フードバンク山梨衛生用品など届ける（能登半島地震）                                        |
| 2024/2/2   | 山梨日日新聞         | 余剰食品募りNPOに寄付 母と女性教職員の会                                           |
| 2024/2/2   | NIKKEI COMPASS | フードバンク山梨 バレンタインアクション2024【あなたの力が必要です！】（有料版）                       |
| 2024/2/8   | 山梨日日新聞         | フードバンク山梨が「バレンタインアクション」                                           |
| 2024/3/26  | BIGLOBEニュース    | 子どもの貧困と自立を描いた絵本を全国の図書館に届けたい！- BIGLOBEニュース（PR TIMES）              |
| 2024/3/27  | 富士山経済新聞        | 子どもの貧困と自立を描いた絵本を全国の図書館に届けたい！-富士山経済新聞（PR TIMES）                   |
| 2024/3/27  | サンニチデジタル       | 子どもの貧困 書籍に フードバンク理事長執筆 利用世帯の実情反映                                 |
| 2024/3/29  | 読売新聞           | 子どもの貧困 絵本で啓発                                                     |





## 2023年度 講演会・視察 実績

| 日時         | 団体名                      | 参加人数 |
|------------|--------------------------|------|
| 2023/04/02 | 甲府北ロータリークラブ              | 20   |
| 2023/06/02 | 農林水産省・山梨県農政部             | 12   |
| 2023/06/12 | 山梨しんきん釜水経営者会             | 60   |
| 2023/06/08 | 板橋区大谷口地区民生・児童委員協議会       | 24   |
| 2023/06/11 | 昭和総合警備保障株式会社             | 130  |
| 2023/08/18 | 甲斐市校長教頭                  | 7    |
| 2023/06/24 | 山梨県退職現職女性教職員の会甲府支部       | 75   |
| 2023/10/11 | フードバンクちば（千葉県フードバンク団体連絡会） | 12   |
| 2023/10/11 | 甲斐市双葉地区民児協母子父子福祉協会       | 7    |
| 2023/10/24 | 甲府市教職員組合 女性部             | 40   |
| 2023/11/10 | 小田川シニアクラブ                | 25   |
| 2023/11/14 | 甲州市勝沼町民生児童委員会            | 36   |
| 2023/11/20 | 公益社団法人フードバンクかながわ         | 20   |
| 2023/11/24 | 山梨県立巨摩高等学校               | 555  |
| 2023/12/05 | 大谷口地区環境行動委員会             | 30   |
| 2024/03/05 | 甲府21ワイズメンズクラブ            | 35   |
| 2024/03/08 | 南アルプス市民生委員児童委員協議会        | 17   |

### (3)助成金・補助金へのアプローチ

助成金・補助金を積極的に申請し、活動資金の確保に努めました

| 助成元・募集事業名称                                       | 事業名・内容                         |
|--------------------------------------------------|--------------------------------|
| 公益財団法人パブリックリソース財団<br>中核的フードバンクによる地域包括支援体制事業（3年目） | 山梨県下における包括的なフードバンク<br>支援体制構築事業 |
| 公益財団法人流通経済研究所<br>令和4年度フードバンク活動団体の食品受入能力向上支援事業    | 食品輸配送費                         |
| 一般社団法人全国フードバンク推進協議会<br>令和5年度孤独孤立対策活動基盤整備モデル調査事業  | ケアリーバーへの食料支援                   |
| 公益財団法人パブリックリソース財団<br>2023年度高山弘子基金                | 貧困世帯に食料を、乳幼児に<br>ミルクとおむつを届けたい  |
| 一般財団法人山梨福祉財団                                     | 真空包装機2台配備                      |

## (4)『フードバンクとぼく』クラウドファンディング

「見えない貧困」を可視化し共同の輪を広げるために

### ■全編オリジナル作品の作成

#### ・2023年春、企画を具体化

当法人理事長の生み出したストーリー、「勇輝のもの」を作品化することを決定。

・困窮家庭に育つ主人公「勇輝」は、経済的な厳しさから友人との関係に悩み、孤立し、孤独な日々を送る。食料支援を通じてフードバンクと出会い、社会との関わりを徐々に取り戻し、自分の境遇に向き合い自立に向けて進んでいく。

#### ・フードバンクゆかりの絵本作家へ挿画を依頼

画家・イラストレーターの三井ヤスシ氏は、山梨県南アルプス市出身、現在は北海道旭川市で活躍されている。フードバンク山梨設立時からの協力者で、さまざまな社会課題へ目を向けられ、ご自身の営む出版社でも困難な状況にありながら前を向いて進む方の著作を多く手がけられている。

#### ・約1年をかけて簡易製本版が完成

内部での意見集約・三井氏との調整を重ね、B5版/36ページ/オールカラーの簡易製本版が完成。



簡易版を先行して作成



県庁記者クラブで記者発表

### ■見えにくい子どもの貧困を広く知らせるため

#### 「全国の高校と公立図書館へ」寄贈を企画

資金はクラウドファンディングで広く呼びかけ

#### ・目標額は300万円

約7500部の製本と送付にかかる費用、全国の公立高校約4900校、都道府県・政令指定都市・市立図書館約2450館への寄贈費用として計上。

#### ・現在の支援者の皆様から、協力の輪を広げて

クラウドファンディングの情報は、各種メディアの活用ともに、現在支援いただいている皆様へも、チラシでのお知らせやメールでのご連絡などを重ね、賛同とご協力をお願いし、取り組み推進の大きな力となった。



新聞・テレビ・ラジオで報道



クラウドファンディングサイトに俳優の石田ひかりさんよりメッセージをいただいた

## 4. パートナースhip

### (1) ボランティア参加の推進

のべ1,603人が活動推進にお力添えいただきました  
ボランティアの輪が広がっています

#### ■多くの方が「意思」を持ち寄って

##### ・食料支援の基本となる作業

毎週水曜：賞味期限チェックと分類

隔週木曜・金曜：箱詰め

不定期：お知らせの封入作業やお米の袋詰め

##### ・継続的な関わりが支える支援活動

毎週・定曜日の作業に長年参加してくださる方々に支援活動は支えられている。

新しくボランティア作業に加わる方にも親切にレクチャーいただいております、ボランティア層の広がりにも貢献しています。

#### ■企業・団体・行政の参加が増加

##### ・社会貢献活動の一環として

ボランティア休暇等を利用した支援活動への社員参加を促進する企業が増加。

また職場でのフードドライブへの協力も浸透しており、多くの食品寄付をいただいている。

##### ・地域別の食料支援作業に行政職員が参加

行政単位で行う支援では箱詰め作業に職員が参加。地域の相談窓口である行政との連携を進め、支援活動のさらなる充実を図る。

#### ■高校生に呼びかけた「ナツボラ」

##### ・きっかけは「食品はどうなるの？」の声

スクールフードドライブを経験した高校生から、寄付した食品がどのように支援に活用されるか知りたい、という声があった。

このため夏の「こども支援プロジェクト」の準備・発送作業への参加を高校生に呼びかける「ナツボラ（夏休みボランティア）」を企画した。

##### ・多くが「進路を意識」→体験後は「やりがい」

進路を考える夏休み、進学や就職のためのボランティア体験を目的とする声が多かった。終了後は「思っていたより楽しかった」「喜ぶ顔を想像した」との感想が目立ち、取り組みの意義と重要性を実感している。次年度も継続的な取り組みとして展開を予定する。



企業・団体からのボランティア参加もさかん



ボランティア交流会で感謝をお伝え



県下の高校に協力を呼びかけた「ナツボラ」



のべ7日間の作業に228人が参加



## (2)市民・行政・企業のネットワーク構築

### 様々なステークホルダーと力を合わせた取り組みの推進

#### ■市民のつながりが、新たなひろがりへ

##### ・「フードバンクスタートアップセミナー」

県内でフードバンク活動を行う団体や活動開始を検討される方々を招き、フードバンク活動の概要や、中核団体としてフードバンク山梨が支援できることをご紹介します。

地域で活躍される団体の事例発表や活動準備に向けての質問などが出され、有意義な時間となった。

このあとフードバンク団体を立ち上げた例もあった。

##### ・様々な企業や団体との連携

「青い鳥子ども支援プロジェクト」による母子世帯への食料支援

寄付付き商品の販売

募金箱の設置

地域のイベントへの出展

など

##### ・「萩原智子杯」でフードドライブ

主催者のシドニー五輪競泳日本代表 萩原智子氏の呼びかけにフードバンク山梨が応えて実現。

萩原氏から寄せられたメッセージをもとに、スローガン「スポーツには、力がある」を掲げ、山梨学院大学シドニー記念水泳場でフードドライブブースを展開した。

多くの選手・保護者が食品を持ち寄り寄付してくださった。



5/17 フードバンクスタートアップセミナー



12/10 萩原智子杯

#### ■県内の自治体との連携促進

##### ・アンケート調査の実施

調査対象：山梨県内の27市町村（86機関）

回答数および回答率：27市町村中21市町村に係る機関（77.7%）

##### ・ヒアリングの訪問

南アルプス市と笛吹市の担当者に食料支援についてのヒアリング

##### ・連携のための訪問

甲州市福祉課に地域で食料支援を実施するための提案

#### 県内22の市町村・ 17の社会福祉協議会と連携

フードバンク子ども支援プロジェクト  
及び生活困窮世帯への支援で  
協力関係ができています自治体や  
社会福祉協議会

南アルプス市、中央市、笛吹市、山梨市、都留市、上野原市、大月市、北杜市、昭和町、市川三郷町、富士川町、身延町、甲州市、富士吉田市、富士河口湖町、忍野村、山中湖村、丹波山村等

## 5. アンケート調査

食料支援利用者の意識と声から「困窮の実態」を表出させる取り組みとして、アンケート調査を実施、公表しました。

3/24.25の二日間実施した「緊急食料支援」で食品を受け取った132世帯のアンケート調査結果

### ■長引く苦境・増えない賃金 生活必需品の値上げが暮らしを直撃

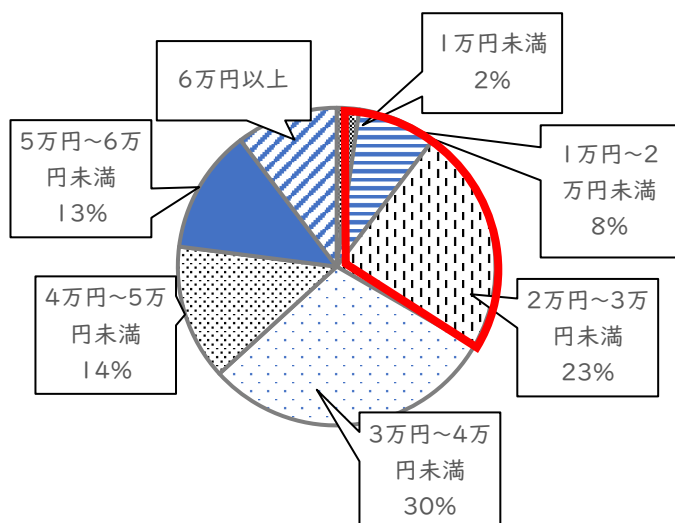
「非正規雇用」は60%を占め  
「正規雇用」は17%  
「失業」は“10人にひとり”に上る

賃金は「変わらない」が76%  
1か月の世帯収入が15万円未満の世帯が  
全体の6割

電気料金の請求額は「値上げ前」の  
1.9倍となり、負担額はほぼ倍増

1日一人当たり食費平均333円。前回調査  
(22年9月)の384円を13%下回った

33%が、ひと月の食費を「月3万円未満」とすると回答。一人あたりの食費は1日333円以下となった



この結果から、2023年度も引き続き「つながるスマイルプロジェクト」として食料支援を実施。  
フードバンクこども支援プロジェクト実施月以外の7.8.12月に行った

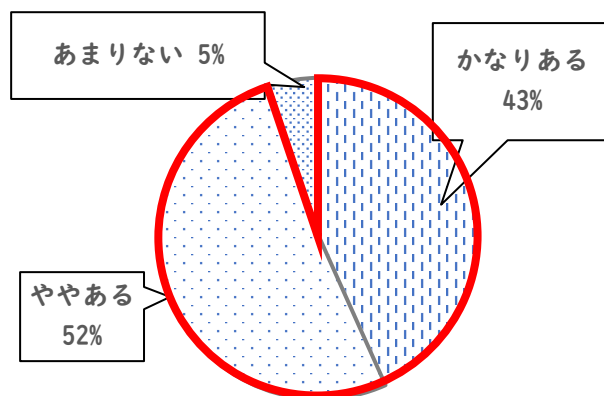
### 利用者インタビュー

子ども2人をひとりで育てる女性。  
託児の仕事掛け持ちし、飲食店でもアルバイト。休みは日曜だけ。  
手取りは月に10万円で、就学援助も利用するが満額は支給されず、家計は常に切迫している。

この冬は特に電気代の節約に苦労した。  
暖房はこたつだけでしのぎ、なるべく電気を使わないよう心掛けたが、それでも料金は1.5倍に上昇。  
育ち盛りを抱え食費も増す一方。  
値引きの食品を買うなど工夫しても家計には大きな負担だ。子どもたちの食事はおなががいっぱいになるよう用意するが、自分は食わずに済ませることも。

コロナ禍では、アルバイト先の居酒屋が閉店するという思わぬ影響もあったが、当時を考えれば、今、なんとかやっている。  
「乗り切れないものはない」と自分を奮い立たせ、毎日を精一杯暮らしている。

「節約のために食費を削る」ことが「かなりある」「ややあるが」全体の95%を占めている





## 6. 災害緊急支援の対応

全国フードバンク推進協議会の要請を受け、1月1日に発生した能登地方を震源とする地震で被害を受けた石川県珠洲市に、緊急支援として珠洲市の要望による物資を届けました

### 支援した物資

- ・ タオル5,000枚
- ・ 下着・靴下 男女400枚
- ・ ごみを捨てるためのゴミ袋2,000枚
- ・ 身体拭き用ウェットティッシュ など

### ■支援活動の経緯

#### ・全国フードバンク推進協議会の初動対応

全国フードバンク推進協議会は、発災直後から関係者が被災地域に入り、自治体や被災地域のフードバンク団体等と連携し支援ニーズの把握等初動対応に取り組む。

#### ・石川県珠洲市からの要請で活動開始

1/6に被災地域の石川県珠洲市からの支援要請に基づき、加盟団体であるフードバンク山梨に支援物資の珠洲市への発送を依頼。



山梨フードバンクセンターから物資をいっぱい積み込んで出発

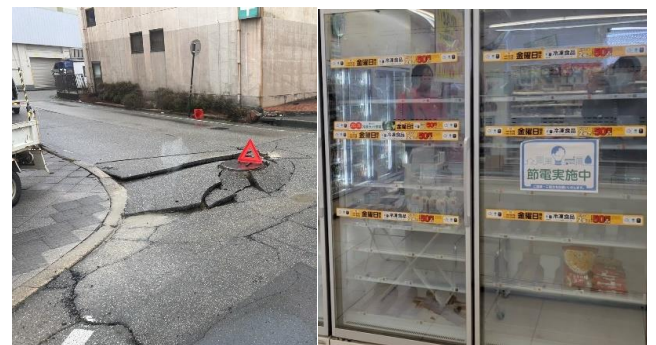


輪島市：倒壊家屋



### ■移動ルート

富山県高岡市→氷見市→石川県七尾市→穴水町→輪島市→珠洲市立体育館【目的地】



七尾市：道路の液状化・空のコンビニ冷凍ケース

### 対応した職員より

倒壊した家屋、陥没した道路などTVニュースで目にしていた光景が目の前に広がり言葉を失った。いつ余震がくるのか、緊急車両とひっきりなしにすれ違うなど緊迫した中での移動が続いた。この中に被災者は何日も身を置いている。胸が張り裂ける思いだった。今後もフードバンク団体としてできる支援を行っていかれたらと思う。【小倉】

現地の方々は意外にも淡々と生活しているように見え、悲しみや困惑といった心情を感じ取ることができなかった。どのような影響があるのかとても心配である。全国各地のナンバーを付けた車両が応援に来ており、各々の支援への想い、使命感、熱意など一体感を覚えた。一方でボランティアなど人手の大切さも感じた。【野中】



輪島市：斜面崩落し土砂が道路を覆う



## 7. 設立15周年記念イベント

任意団体設立より15年。2023年10月15日（日）に  
記念セレモニーと「かがやけ!みらいフェスタ」を行いました

### 【第1部 記念セレモニー】

来場者数 **51** 名

#### ■感謝状41枚

寄付企業、スクールフードドライブ実施校、ボランティアの代表の方に感謝状をお渡しし、利用世帯から公募した「15歳の子どもたちの作文」の最優秀賞受賞者の表彰を実施。



### 【第2部 かがやけ!みらいフェスタ】

来場者数 **200** 名

#### ■出展20ブース

多くの企業・団体の皆様のご協力により、多彩なコーナーが設けられ、帰りには大抽選会で食品・日用品のプレゼントを支援世帯に提供した。

#### ■15周年記念作文コンクール

15歳の子どもたちから募集し、  
24名の応募があった。

- ・最優秀賞 1名
- ・優秀賞 4名
- ・応募者全員に  
参加賞  
(クオカード)



作文コンクール最優秀作品の表彰



企業の協力によるダンボール工作コーナー



専門家による相談コーナー

## 8. 組織運営強化

必要な支援を必要な人に届ける活動を継続していくために、  
組織基盤の強化に取り組みました

### (1) 職員が働きやすい環境づくりと待遇改善

#### ■山梨フードバンクセンター開設の効果

- ・ 事務所と倉庫の移動がなくなったことによる業務負担が軽減
- ・ 空調が設置された倉庫での作業により安全性の確保が実現

#### ■各種助成金を活かした待遇改善の追求

- ・ 物価高騰の影響を反映した職員賃金のベースアップ実現
- ・ 子どもがいる職員への「養育手当（子ども1人5,000円）」支給開始
- ・ 「災害派遣手当」の導入と支給

### (2) 人材育成の取り組み

#### ■オンライン研修への積極的参加

- ・ オンライン受講の研修 26件
- ・ 会場参加の研修 3件

#### ■職員全体会議の開催

活動のあり方に関する意見交換を継続実施

### (3) 理事会運営の充実

#### ■オンライン出席の準備と事前資料の送付

参加しやすい体制による出席率の向上

